

昭和62年7月15日発行



◀ 91の露店が軒を並べ
「エー、いらっしゃい」

月潟祭賑わう

八団体から出されたタルミ
コシと山車、民謡流し、月潟
太鼓に角兵衛獅子の奉納、又
剣士会の奉納試合、土田演芸
団、小学校トランペット隊バ
レード等多催な協賛行事で賑
わいを見せ、無事終了いたし
ました。

冷蔵庫の“過信”は禁物

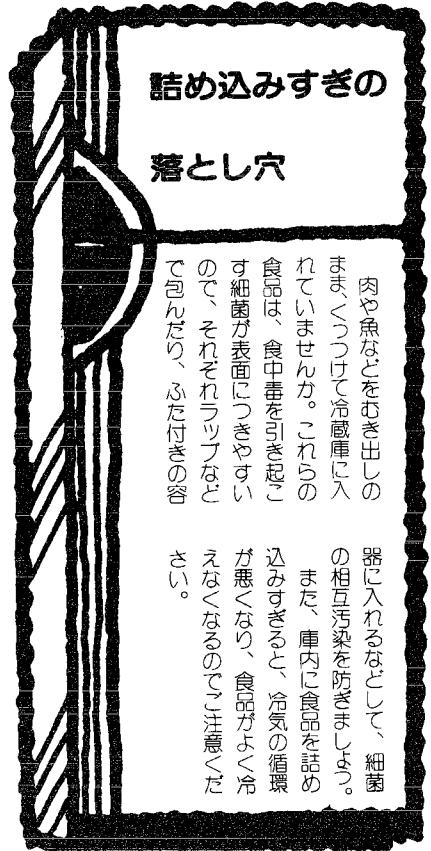
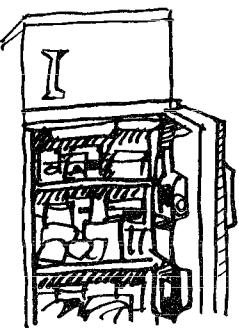
食品衛生週間
8月3日～9日

集中中毒の六割が夏季に集中

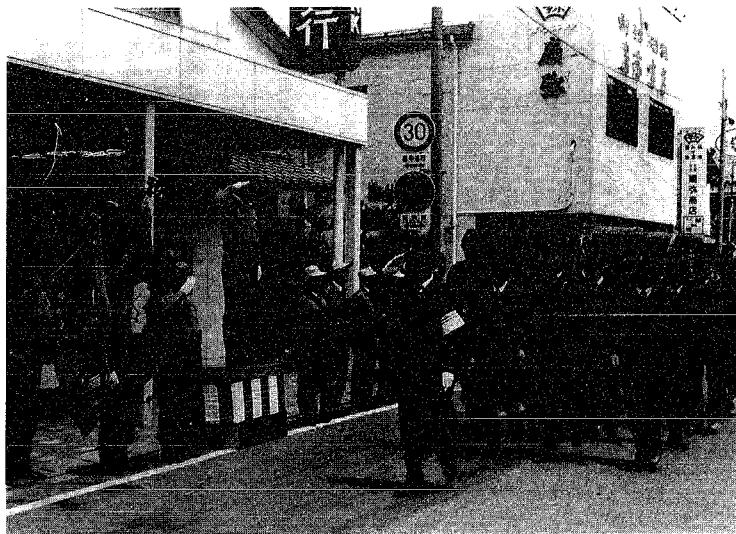
夏は食中毒の発生しやすい季節。昨年発生した食中毒件数の六〇%が、七月から九月に集中しています。

食中毒の発生要因もいろいろあります。たとえば、冷蔵庫の“過信”による食中毒も頻発しています。“冷蔵しているのだから、食品はいたまないし、ましては場所というわけではありません。食中毒なんて……”と思われる方も多くいらっしゃいますが、冷蔵庫は絶対に安全なことが大切です。

庫内の温度は一〇度以下に



昭和62年7月15日発行



▲ 市街地を分列行進する消防団員
「観閲者にかしら一、右」

六月十四日午前六時五十分
学校給食共同調理場から出火
延焼中という想定のもと、消
防団、白根地区消防署の消防

車、積載車が出動し、消火作業や人命救助など本番さながらの演習が行われました。

訓練の成果を披露

『消防回送合演習』

ランドで点検やポンプ操法競技を実施し、日頃の訓練の成果を披露しました。最後に月潟市街地で力強い分列行進を行つて閉会しました。

歲時記

はますます盛んです。企業が月遅れのお盆（八月十三日～十五日）を中心に集中的に夏

はますます盛んです。企業が月遅れのお盆（八月十三日～十五日）を中心に集中的に夏期休暇を設けるようになった

118

行つて閉会しました。
ボンブ操法大会の結果は次のとおりです。

第一位	第三分団第三部 (釣寄・釣寄新)
第二位	第一分団第三部 (大別当) (木滑)
第三位	第三分団第一部

また、当日永年勤続表彰を受けられた団員の方は次のとおりです。

故人名

一、十年以上
青柳一郎、五十嵐栄久雄、
仲山章、田中卓、曾山正登、
関本政義、間島正、齊藤武
男、佐藤佐久治、間島繁樹、
金子義信、児玉正彦、児玉
利昭、滝沢峰男、野内善広、
野内勝、野内弘、間島利夫、
間島幸雄、高木菊一郎、永
野国光、高木辰男、曾山茂、
竹内久衛
(音符略)

期休暇を設けるようになつたことも、一因のようです。この時期、都会に就職した人たちが帰郷し、盆踊りが旧交を温める場となつてゐるのです。

一方、都会の団地やニュータウンの盆踊りも各地で行われるようになりました。故郷のない都會の二世、三世が増えるにつれて、こうした行事がますます喜ばれるようになるでしょう。ところで、車を利用して帰省することの多い八月は「シートベルト着用推進月間」です。シートベルトの着用率は一般道路でも運転者九六・四%、助手席同乗者九三・三%（六十二年四月調査）と好成績ですが、夜間などには、つい怠る人がいるようです。また中には、窮屈だからとベルトを緩めている人も見かけますが、万一のとき大いへん危険です。せっかくの帰省を悲劇にしないために、シートベルトは必ず正しく締めましょう。